



2007年5月17日

レーザーフロントテクノロジーズ株式会社

オムロン株式会社との業務・資本提携について

弊社は本日、オムロン株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長:作田久男、以下オムロン社)と業務・資本提携を行うことで最終合意に至りましたので、お知らせいたします。

今回の提携は、弊社およびオムロン社のインダストリアルオートメーションビジネスカンパニー(カンパニー社長:立石 文雄、以下:IAB)がレーザ微細加工技術による双方の事業領域の拡大を図るために行うものです。

弊社は、2004年4月に日本電気株式会社より分社化・独立して以来、グローバルトップシェアを誇るLCD用のCVDリペア装置、世界最高出力のUV 固体レーザ、トリマ装置、レーザ溶接機、レーザマーカなど幅広い商品を提供して参りました。その間、積極的な研究開発投資によるコア技術力の強化、新規事業領域への進出等、事業価値の向上に努めてきましたが、今般のオムロン社との業務提携は、これまで弊社が培ってきた事業基盤を更に強化し、弊社のより一層の事業成長に資するものであります。また、斯かる両者事業シナジーを最大限発揮するためには、資本提携が必要であるとの判断に至ったものです。

現在、IABでは、製造業の新たなニーズである「品質」「安全」「環境」に対する事業強化に取り組んでいます。中でも「品質」に関しては、製品のライフサイクルにわたって品質を測定、分析、改善することで継続的に品質を向上させる「品質ソリューション事業」を展開しています。同事業においては、基板検査装置やLCD短寸計測装置等、製造業における「検査・計測」用途の商品を提供しています。

弊社の「レーザ加工」事業とIABの「検査・計測」事業とが連携することで、益々微細化が進む製造プロセス全領域にわたって、トータルな品質をお客様に提供することが可能になります。具体的には、加工対象や加工位置を計測しながらの精密なレーザ加工や、製品検査とリペアを連携させることによるリペア自動化などの応用展開が可能となります。

また、弊社はレーザ加工用途で液晶・半導体・電子部品などの業界に強く、IAB は製造業全般にグローバルベースで非常に幅広い顧客基盤を有しています。今回の提携により、両社顧

客への一層の提供ソリューション強化を図り、顧客満足度の更なる向上により事業成長の加速を図ります。

なお、資本提携の形態としては、オムロン社が、弊社の主要株主である日本産業パートナーズ株式会社、日本電気株式会社をはじめとする株主から普通株式を譲り受けることにより、弊社株式の80%超を取得いたします。

オムロン(株)IABカンパニー 立石文雄社長のコメント

「LFT社との提携により、LFT社の保有する最先端のレーザー微細加工技術と当社のセンシング&コントロール技術を融合し、さらに両社が保有する顧客基盤の相互活用により、製造業における「品質」「安全」「環境」への取組みをグローバルベースで展開できるものと考えている。」

弊社 松延起士社長のコメント

「これまで弊社は、液晶関連・半導体関連レーザー加工装置を中心に事業展開してきたが、オムロン社との技術融合により、より幅広い顧客ニーズに立脚した新しいレーザーソリューション展開が可能となり、事業基盤を飛躍的に拡大できるものと考えている。」

1. オムロン社概要

会社名:	オムロン株式会社
本社所在地:	(本社) 京都市下京区塩小路通堀川東入 (東京本社) 東京都港区虎ノ門3丁目4番10号
代表者:	代表取締役社長 作田 久男
創業:	1933年(昭和8年)5月10日
設立:	1948年(昭和23年)5月19日
資本金:	641億円(2006年3月31日)
連結売上:	6,267億8,200万円(2005年度)

2. 今後の日程

2007年6月末(予定) 業務・資本提携日

3. 報道発表文

オムロン株式会社ホームページ(<http://www.omron.co.jp/>)をご参照ください。

以上